

研 修 カ リ キ ュ ラ ム ・ シ ラ バ ス (介護職員初任者研修)

科目	細目	時 間 数					講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
		計	講 義		演 習	実 習	
			通信	通学			
1	職務の理解	(指導目標) ①研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について理解する。 ②介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。					
	(1) 多様なサービスの理解	3		3		0	◇講義内容 ・介護保険による居宅サービス ・介護保険による施設サービス ・介護保険外のサービス ・介護についての認識やイメージについてグループで話し合いを行う。
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3		3		0	◇講義内容 ・介護サービスを展開する現場の実際 ・介護サービスの提供にいたるまでの流れ ・介護過程とチームアプローチ ・介護現場や仕事内容等についてグループワークを行い理解を深める。
2	介護における尊厳の保持・自立支援	(指導目標) ①介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し理解する。 ②自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解する。					
	(1) 人権と尊厳を支える介護	5	4	1			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・人権と尊厳の保持 ・介護に関する、ICF・QOL・ノーマライゼーション ・虐待防止、身体拘束禁止
	(2) 自立に向けた介護	4	3.5	0.5			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・自立支援 ・介護予防
3	介護の基本	(指導目標) ①介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。 ②介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を促える。					
	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護に関する職種
	(2) 介護職の職業倫理	1	0.5	0.5			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・専門職の倫理の意義 ・介護福祉士の倫理
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・感染対策
	(4) 介護職の安全	1	0.5	0.5			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・介護職の心身の健康管理 ・感染予防
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(指導目標) ①介護保険制度や障害者総合支援制度の最低限知っておくべき目的を理解する。 ②代表的なサービス内容、サービス利用の流れを理解する。 ③各専門職の役割責務を理解する。					
	(1) 介護保険制度	3	2	1			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・介護保険制度創設の背景および目的、動向 ・介護保険制度のしくみの基礎的理解 ・制度を支える財源、組織、団体の機能と役割
	(2) 医療との連携とリハビリテーション	3	3	0			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・医行為と介護 ・訪問看護 ・施設における看護と介護の役割、連携 ・リハビリテーションの理念
	(3) 障害福祉制度およびその他制度	3	2	1			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・障害者福祉制度の理念 ・障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解

(様式第1-3号)

科目	細目	時 間 数					講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
		計	講 義		演 習	実 習	
			通信	通学			
5	介護におけるコミュニケーション技術	(指導目標) ①高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識する。 ②初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解する。					
	(1) 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・コミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法 ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際
	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・記録における情報の共有化 ・報告、連絡、相談 ・コミュニケーションを促す環境
6	老化の理解	(指導目標) ①加齢・老化に伴う心身の変化について理解する。 ②疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。					
	(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	1.5	1.5			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・老年期の定義 ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・老化にともなう心身の機能の変化と日常生活への影響
	(2) 高齢者と健康	3	1.5	1.5			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・高齢者の症状・疾患の特徴 ・高齢者の疾病と生活上の留意点 ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点
7	認知症の理解	(指導目標) ①介護において認知症を理解することの必要性に気づく。 ②認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。					
	(1) 認知症を取り巻く状況	1	0	1			◇講義内容 ・認知症ケアの理念 ・認知症ケアの視点
	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	2	0			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・認知症の概念 ・認知症の診断 ・認知症の原因疾患とその病態 ・原因疾患別ケアのポイント ・認知症の治療と予防
	(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	0	2			◇講義内容 ・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ・認知症の人への対応
	(4) 家族への支援	1	0	1			◇講義内容 ・家族への支援 ・認知症の人を介護する家族へのレスパイトケア
8	障害の理解	(指導目標) ①障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解する。 ②介護における基本的な考え方について理解する。					
	(1) 障害の基礎的理解	1	0	1			◇講義内容 ・障害の概念とICF ・障害者福祉の基本理念
	(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0	1			◇講義内容 ・身体障害 ・知的障害 ・精神障害
	(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0	1			◇講義内容 ・家族の理解と障害の受容支援 ・介護負担の軽減

(様式第1-3号)

科目	細目	時間数					講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
		計	講義		演習	実習	
			通信	通学			
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	(指導目標) ①介護技術の根本となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ②尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の住宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。					
I 基本知識の学習		(10～13時間程度)					
	(1) 介護の基本的な考え方	4	2	2			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・理論に基づく介護 ・法的根拠に基づく介護
	(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	2	2			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因
	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	2	2			◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、 ・骨・関節・筋に関する基礎知識ボディメカニクスの活用 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識
II 生活支援技術の講義・演習		(50～55時間程度)					
	(4) 生活と家事	3	2	1	0		◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・家事と生活の理解 ・家事援助に関する基礎的知識と生活支援
	(5) 快適な居住環境整備と介護	3	2	1	0		◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・快適な居住環境に関する基礎知識、 ・高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用
	(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	0	2	5		◇講義内容 ・整容に関する基礎知識 ・整容の支援技術 ◇演習の実施方法 ・整容についてロールプレイングを行う。 ※演習時間内に実技評価を行う。
	(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	0	2	5		◇講義内容 ・移動、移乗に関する基礎知識 ・移動・移乗に関する用具とその活用方法 ・利用者、介助者にとって負担の少ない移動、移乗の支援 ・移動、移乗を阻害する要因の理解と支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援 ◇演習の実施方法 ・移動・移乗についてロールプレイングを行う。 ※演習時間内に実技評価を行う。
	(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	0	2	5		◇講義内容 ・食事に関する基礎知識 ・食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法 ・楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 ・食事と社会参加の留意点と支援 ◇演習の実施方法 ・食事についてロールプレイングを行う。 ※演習時間内に実技評価を行う。
	(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	0	2	5		◇講義内容 ・入浴、清潔保持に関する基礎知識 ・入浴、清潔保持に関する用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法 ◇演習の実施方法 ・入浴、清潔保持についてロールプレイングを行う。 ※演習時間内に実技評価を行う。
	(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	0	2	5		◇講義内容 ・排泄に関する基礎知識 ・排泄環境の整備と関連する用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法 ◇演習の実施方法 ・排泄についてロールプレイングを行う。 ※演習時間内に実技評価を行う。

(様式第 1 - 3 号)

科目	細 目	時 間 数					講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
		計	講 通信	義 通学	演習	実習	
	(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	0	2	5		◇講義内容 ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境整備と関連する用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法 ◇演習の実施方法 ・睡眠についてロールプレイングを行う。 ※演習時間内に実技評価を行う。
	(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	3	2	1	0		◇講義内容・通信学習課題の概要等 ・終末期に関する基礎知識 ・生から死への過程 ・「死」に向き合うところの理解 ・苦痛の少ない死への支援
Ⅲ 生活支援技術演習		(10～12時間程度)					
	(13) 介護過程の基礎的理解	6			6		◇講義内容 ・介護過程の目的、意義、展開 ・介護過程とチームアプローチ ◇演習の実施方法 ・ケース・スタディにて介護過程について検討し、どのように反映して自立につなげるかグループ討議を行う。
	(14) 総合生活支援技術演習	6			6		◇講義内容 ・演習を行うにあたって ・「食べたくない」と訴える施設入所者の支援 ・できるだけ外に出かけたいと思っている利用者の支援 ・トイレでの排泄にこだわりをもつ利用者の支援 ◇演習の実施方法 ・利用者に対する適切な支援技術の検討をグループにて話し合い行う。 ・利用者に対する適切な支援技術のロールプレイングを行う。 ※演習時間内に実技評価を行う。
10 振り返り		(指導目標) ①研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行う。 ②就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。					
	(1) 振り返り	3		3			◇講義内容 ・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点 ・介護職に求められるものについてグループ討議を行う。
	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1		1			◇講義内容 ・継続的に学ぶべきこと ・研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例の紹介